

バイオセーフティ・バイオセキュリティの現状について — 病原体の適正な取扱いと安全管理 —

日時：平成25年9月26日(木) 14:00-18:00

会場：北海道大学学術交流会館 札幌市北8条西5丁目

主催：日本バイオセーフティ学会(第13回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会)

共催：厚生労働科学研究費補助金「新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業病原体
及び毒素の管理システムおよび評価に関する総括的な研究」(代表研究者 西條 政幸)

参加費：無料、事前登録不要

座長：倉田 毅、杉山和良

14:00 - 14:30

感染症はなくなる!

国際医療福祉大学塩谷病院中央検査部 倉田 毅

14:30 - 16:00

第1部 病原体の適正な取扱い

1. 感染症法に基づくバイオリスク管理について 厚生労働省結核感染症課 中嶋 建介
2. 病原体等の運搬の届出について 警察庁生活安全局保安課 三輪 健
3. 感染性物質用容器の梱包と輸送方法

公益法人結核予防会結核研究所抗酸菌部結核菌情報科 鹿住 祐子

16:00 - 17:00

第2部 世界のBSL4施設の現状

1. 世界のBSL-4施設 国立感染症研究所 ウイルス第一部 福士 秀悦
2. 米国NIH BSL4研究施設で学んだこと

北海道大学大学院医学研究科 微生物学講座 病原微生物学分野 津田 祥美

17:00 - 18:00

第3部 安全キャビネット

1. 安全キャビネットの構造・性能と注意事項
(社)日本空気清浄協会
(株)日立産機システム 受配電・環境システム事業部 小野 恵一
2. 病原体取扱いにおける留意点 国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室 伊木 繁雄

本シンポジウムは病原体・臨床検体を取り扱う者等を対象にバイオセーフティ・バイオセキュリティの現状について知っていただくために企画されています。特定病原体等の適正な取扱いとBSL4施設及び身近に使用されている安全キャビネットについての情報を提供します。

改正感染症法の施行から6年が経過しています。最初に、感染症についての理解を深めるために感染症の特性等について紹介します。特定病原体等の病原体管理の状況と輸送に関し、厚生労働省担当者及び警察庁担当者から解説します。特に特定病原体の輸送にはテロ対策上の観点から紹介します。また、法令に定められた適正な梱包法について、注意点等を紹介いたします。

BSL4施設での最近のウイルス性出血熱等の研究状況及び施設の運用状況等を紹介いたします。また、海外施設利用者からの施設使用に関する体験を紹介し、BSL4施設についての理解を深めていきます。

安全キャビネットは作業者をエアロゾルの曝露から防御するための有効な安全装置です。設計者の立場及び使用者の立場からの観点で紹介します。

多くの関係者のご参加をお願いいたします。



第13回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会事務局

日本バイオセーフティ学会事務局 株式会社 微生物科学機構内

〒112-0002 東京都文京区小石川4-13-18

FAX:03-6231-4035 E-mail:biseibutsu-com@umin.ac.jp

<http://www.microbiology.co.jp/jbsa/gakkaiannai03.html>